

大黒天（だいこくてん）は、五穀豊穡を祈る台所の神様

元々インドでは仏教の守護神の一人で、軍神・戦闘神、富貴爵禄の神とされましたが、中国で財福を強調して祀られたものが、日本に伝えられ、台所の神とされました。米俵の上に立ち大黒頭巾をかぶり、福々しい笑顔で大きな福耳を持つお姿です。

真言 オン マカキャラヤ ソワワ

縁日 甲子（こうし・きのえね）の日（年に6回）



打出の小槌

欲しいもの、願い事を唱えて振ると願いどおりの物があらわれる効果を持つ、一寸法師の昔話に鬼の忘れ物として登場。

七宝袋

七宝とは物質的な宝物ではなく、寿命、人望、清麗、威光、愛嬌などの意味を表す七つの精神的宝物の事です。

米俵

米は神からの贈り物です。米二俵は「一人の食い扶持は二俵、二俵で満足する」と言う欲を張らない清廉な心を示しているそうです。

ちなみに、大黒さん（俵の上で五穀豊穡を祈る）は七福神の一人ですが、同じ七福神の一人の恵比寿さん（釣竿を持ち大漁を祈る）と並んで福の神の代表として民間の信仰は厚く、この二尊の木彫り像を縁起物として台所や床の間に飾ることもあります。弘濟寺では護摩堂に祀られていますので、吉祥事をお祈りする際にはこちらにお参り下さい。

写仏（なぞり描き）

仏像の手本をなぞることで、心安らぐひと時を感じることができます。筆ペンや色鉛筆など好きなもので描いてみましょう！

「為」の下には願い事を（例：家内安全、身体健康、商売繁盛、疫病退散など）

「願主」の下にはお名前を書いて、家の仏壇等にお飾りいただくか、弘濟寺に奉納下さい。

為

令和
願主
年月日

弘濟寺

大黒天像

